

施設問題

問 スノーハープの利活用は

答 調整する中で、陸上競技場に



太田 伸子 議員

【スノーハープについて】

問 第4次総合計画後期計画の中で、競技場の利活用について「陸上競技のタータン化等の整備を図る」とあるが、考えは。

スキークラブからは、「圧雪車両の使用許可」と「雪上にネット等の設置にあたり、ドリルによる掘削作業に支障が出ない構造での造成」、「スタート、フィニッシュエリア付近を水平にする場合は、周回コースからの導入付近の傾斜角度も合わせて造成」する。サッカー関係者からは「合宿等の受入れを長年



悪条件の中を走る選手たち（スノーハープクロスカントリー大会）

継続して行ってきたが、改修により使用できなくなる

と他市町村に移動する」、「コートが2面なくなるので

あれば、他に2面確保してほしい」「排水状態が悪く異臭がする」。また、陸上競技協会からは「同時に同種目のアスリートが利用できるため、利用人数の増に繋がる」「400mトラックとクロスカントリーコースとを併用すれば、高レベルの陸上競技となる」などの意見をいただいています。競技場活用検討委員会からの報告とこれらの意見を調整する中で、陸上競技場建設に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

【会計検査院決算

検査報告について】

問 村の国民健康保険事業の過大申請指摘事項について説明を。

答 国民健康保険の療養給付費負担金が877万2千円、財政調整交付金が230万1千円、合計1107万3千円が過大に交付されていると認められ、報告されたものです。

退職について、届出がない場合、県国保団体連合会から送られる対象者リストから該

当者を抜き出し退職の資格を取得した時点で遡り、給付の財源が変更となるため、次年度において控除や、申請を行わなければならないことになっていきます。しかし、日常業務の中でこうした遡及する事務処理を行ってこなかった為に指摘を受けることになりました。

問 国保財政に影響は。

答 平成20年度に清算して、指摘された金額の返還手続きに備えており影響はありません。

問 財政に影響がなくても、村の信用は。

答 大きく失墜させたことは遺憾であり、申し訳なく思っており、再発防止に努めてまいります。

【観光局について】

問 今シーズンの戦略について。

答 長野県スキー発祥100周年であることから、「白馬雪恋祭り」と題して雪

を最大限にアピールし各種イベントを実施いたします。